shenpix
高濃度酸素サーバー
CFOC-Hg

- コストは電気代のみ（1時間／約11円）
- 耐用年数：毎日1時間で約22年（8,000時間）
- 世界33か国の特許を持つマスク2個付



「高濃度酸素」でセルフケア





私たちの体の全てを構成する40～60兆個と言われる細胞の一つ一つが
「酸素を利用した化学反応」でエネルギーを得て生命活動を維持しています。
健康管理、病気予防、感染症対策、免疫力維持には細胞を
酸欠にしないことが「基本中の基本」です。

HOW to USE

日常での使用について

CASE1 息苦しさや疲れを感じる場合

流量設定 —— 5ℓ　使用時間 —— 10～90分

テレビ、新聞・読書、パソコンなどしながら10～90分、連続的又は断続的に使用してください。意識的に鼻で吸い、口から吐ける方は呼気(二酸化炭素)を再吸入しない「ニューオキシジェンマスク」の使用をお勧めします。口呼吸しかできない場合は比較的に呼気を吸入しない付属の「一般的な酸素マスク」をご使用ください。

CASE2 寝たきり又はそれに近い状態の場合

流量設定 —— 2ℓ　使用時間 —— 医師の指導による

医師の判断により長時間の酸素吸引を必要とされる場合で、かつ酸素療法の保険の対象とならない方や保険を利用しない場合は「鼻カニューレ」をご使用ください。



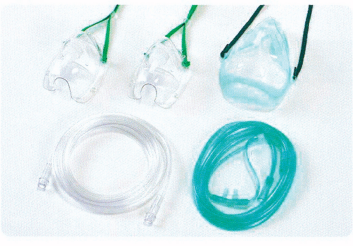
製品仕様 シェンペクス 高濃度酸素サーバー CFOC-Hg

製品3年保証

流　　量	毎分1～5ℓ
酸素濃度	95.5～90
運 転 音	52dB(A)
重　　量	17.8kg
寸　　法	H 64cm/W 24cm/D 49cm
耐年年数	毎日1時間使用で約22年(8,000時間) ※通常運転
消費電力	400W
作動保証	3年間

付属品

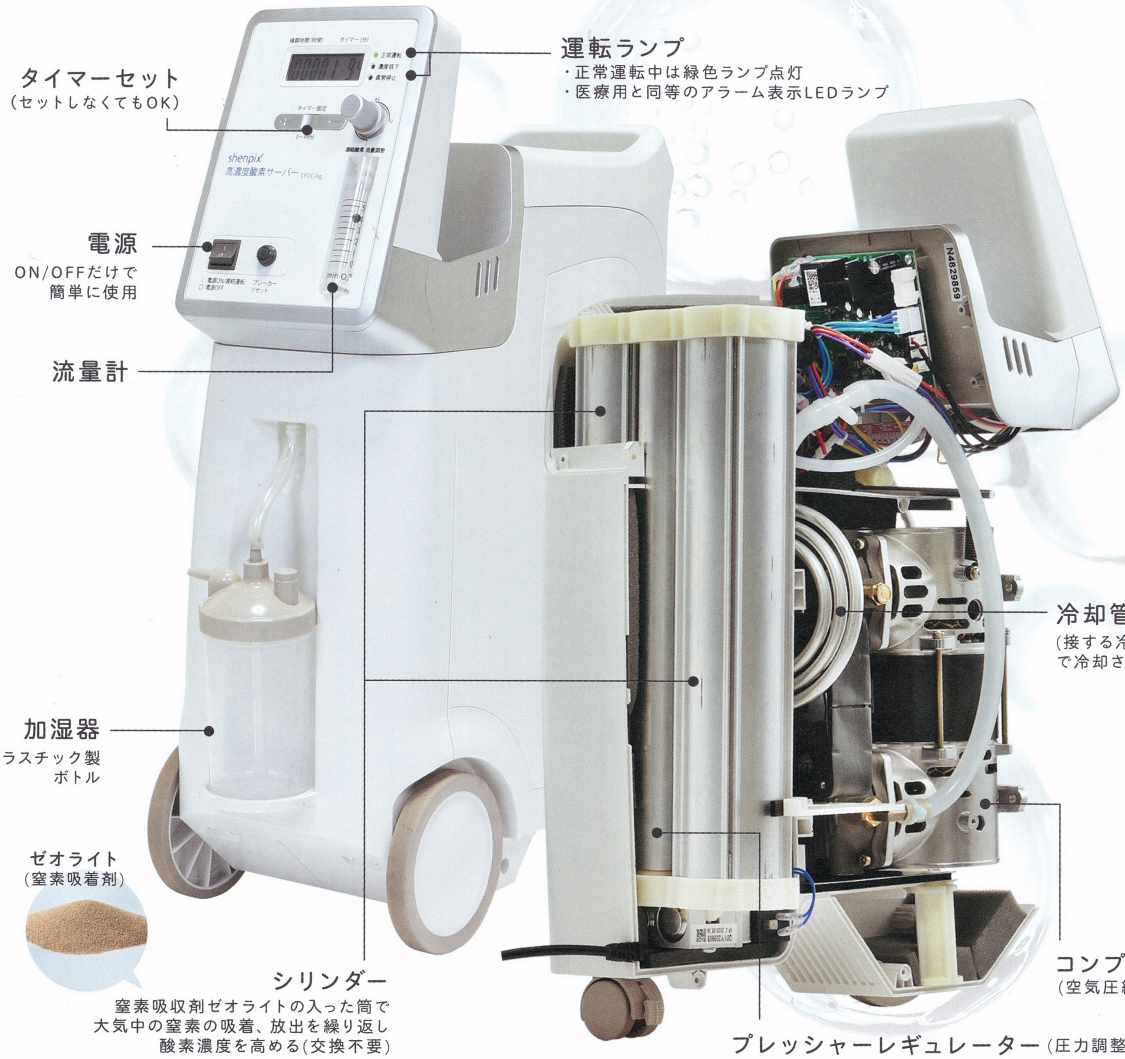
- ニューオキシジェンマスク/2個
  呼気を再度吸い込まない
  【世界33か国の特許】
- 一般的な酸素マスク/1個
  意識的に鼻で吸い口から
  呼気を吐けない方 (口呼吸用)
- 鼻カニューレ/1本
  低流量、長時間吸引用



※酸素マスクを使い10～90分程度使用する場合は、加湿器に水を入れず、空のままでお使いください。
※鼻カニューレを利用して長時間使用する場合、鼻孔が乾燥するのを防ぐ為に加湿器に水を入れてお使いください。

加齢、喫煙習慣のタバコ肺(COPD)、運動不足、浅い呼吸等による酸素摂取量の低下を「高濃度」でカバー、細胞を酸欠から護ります。

JIS 品質と性能、医療用と同等の能力を持った機種です。高濃度酸素生成流量及び濃度に関しては医療用酸素濃縮器JIS規格(日本産業規格)の試験に適合しています。



シェンペクス CFOC-Hg
高濃度酸素サーバーのポイント

原理と特徴
酸素濃度 **95%**

本製品は大気の約78%を占める窒素を取り除いて酸素だけを回収し酸素が約95%の気体を生成する装置です。

低コスト
電気代約 **¥11**

原料は大気ですから無料！使用コストは電気代(1時間で約11円)のみで、8,000時間(毎日1時間使用で約22年)使えます。

誤解されてる？
安心・安全

酸素は単体で燃焼や爆発はしません。誰でも安全に使用できます。

高濃度酸素の効果について

息切れなどは酸素吸引後すぐ効果を感じますが、二日酔いや疲労回復などの場合、酸素吸引後に身体内での化学反応まで時間を要するために1時間程度かかります。※使用者の状態により個人差があります。

ご注意

病気治療に酸素の吸引を必要とする患者さんは特別の場合以外、入院しているはずですのでお医者さんの指示に従って治療してください。高濃度酸素サーバーは病気治療以前の日常の酸素不足解消を目的にご使用ください。



※酸素吸引できるのは1台の酸素サーバーにつき1名です。

酸素と活性酸素

私たちは酸素と水素を反応させたエネルギーで生命を維持しています。酸素と水素が化合すればH2O、水になりますがその1日の量は大人で300ccになります。水素は食物を分解して豊富に得ることが出来ますが、この時にも酸素を利用した化学反応が行われます。酸素は呼吸で得ますが、その摂取能力は加齢と共に低下します。

酸素不足状態を放置すると健康な生命維持に様々な支障をきたします。



▷悪者扱いの活性酸素ですが厚生省ホームページで「活性酸素の役割」例として下記1～4が明記されています。

1. 免疫機能や感染防衛
2. 細胞間のシグナル伝達
3. 排卵・受精
4. 細胞の分化、細胞の死

この大事な役割を担う活性酸素の素は酸素で活性酸素を消去すれば良いという安易な考えは禁物です。

高濃度酸素でセルフケア

細菌の侵入やウィルスに感染すると通常の何十倍もの活性酸素が作られ身体を防衛しますがこんな時、酸素不足では活性酸素も不足します。

例えば風邪をひきやすく治りにくい人は慢性的な酸素不足で活性酸素不足かもしれません。風邪をひいて体がだるくなるのは大量の酸素が活性酸素になって細胞が酸欠状態になっているからです。二日酔いで頭が痛い、体がだるいのもアルコールの毒物を分解するために大量の酸素が使われて脳や細胞が酸素不足になっているからです。
高濃度酸素サーバーは95%濃度の酸素を生成し供給しますが「酸素マスク」や「鼻カニューレ」を使用する際に大気と混合し、吸引する酸素濃度は平均的に45～55%位になります。このような方法で、1回10～90分程度の吸引及びそれを1日に何度か繰り返すことに酸素の吸い過ぎ等の問題はなく、是非、高濃度酸素サーバーを活用した日々をお過ごしください。

【ご参照：脂肪を分解したりコラーゲンを体内で生成するために日々大量の酸素を必要としています。】

酸素濃縮器を選ぶポイント

安い物から高価な物までネット上で販売されていますが効果の出る機器を選ぶには以下が重要なポイントになります。

1. 毎分の酸素の流量（生成）能力が5リットルあること。濃縮酸素は吸引する時に大気と混じり濃度が薄まります。流量が少なければ濃度はさらに低くなります。
2. また、流量が5リットルでも濃度が90％以上であること。価格が10万円以下の製品は能力の関係上、流量を5リットルにした時の酸素濃度は30％以下になるものがほとんどですが、これでは吸引時に大気と混ざったときさらに薄まり大気と変わらぬ濃度になってしまいます。大気中の酸素濃度は20％です。
3. 吸引方法でノズルの様なモノを鼻に近づけて吸わすようにしているものがありますが、この方法では全く効果はありません。病院でこの様な方法で酸素を投与することはありません。

製造元

シェンペクス·インターナショナル株式会社
（医療機器製造販売会社）

総販売元

GMP Good Manufacturing Practice **株式会社ジーエムピージャパン**
〒379-2146 群馬県前橋市公田町590
TEL 027-219-6612

お求め先